



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 昭和化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4990 URL <https://www.showa-chemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石橋 健藏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 笹元 岳 TEL 03-5575-6300
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	9,272	0.4	446	29.0	801	40.3	624	51.7
2025年3月期	9,237	0.4	346	△31.3	571	△20.6	411	△29.5

(注) 包括利益 2026年3月期 1,331百万円 (108.8%) 2025年3月期 637百万円 (△29.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	58.67	—	7.1	5.7	4.8
2025年3月期	38.67	—	5.2	4.2	3.7

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 162百万円 2025年3月期 43百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	14,569	9,387	64.4	881.42
2025年3月期	13,655	8,119	59.5	762.37

(参考) 自己資本 2026年3月期 9,387百万円 2025年3月期 8,119百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	826	△369	△665	2,873
2025年3月期	766	△135	△435	3,072

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00	65	15.5	0.8
2026年3月期	—	3.00	—	7.00	10.00	109	17.0	1.2
2027年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00	—	—	—

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,900	1.2	120	△56.6	—	—	—	—	—
通期	9,400	1.4	200	△55.2	—	—	—	—	—

(注) 2027年3月期連結業績予想は、持分法適用会社であるオーベクス(株)の業績予想が未定であるため、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益および1株当たり当期純利益(2027年3月期配当性向予想含む)は、その影響額を合理的に算定することが困難であることから、売上高および営業利益のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期	11,979,000株	2025年3月期	11,979,000株
2026年3月期	1,328,405株	2025年3月期	1,328,405株
2026年3月期	10,650,595株	2025年3月期	10,650,595株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年4月1日～2026年3月31日)における我が国経済は、所得環境の改善や物価上昇の落ち着き等により個人消費は緩やかに回復したものの、ウクライナや中東情勢ほか地政学的リスクの高まり懸念等、先行き不透明な状況となりました。

このような経営環境の中、当社グループは生産性向上、省エネ及びお客様への商品安定供給のための設備投資を行い、長期的視点での事業収益強化に尽力しました。また、お客様への技術提供を通じ当社商品の継続的なご利用を促進する取り組みを進めるとともに、新規事業活動を展開してまいりました。

その結果、売上高は92億72百万円(前期比0.4%増)となりました。利益面では、「持分法による投資利益」の増加等により経常利益8億1百万円(同40.3%増)、「投資有価証券売却益」の増加並びに「特別損失」の減少等により親会社株主に帰属する当期純利益は6億24百万円(同51.7%増)となりました。なお、当社グループは単一セグメントであるため、製品別の業績を記載すると次のとおりであります。

濾過助剤

当該商品は、ビール類・清涼飲料水・甘味料・調味料等の食品工業、抗生物質等の製薬工業、油脂・合成樹脂等の化学工業、ごみ焼却場等で使用される当社の主力商品群です。

当連結会計年度におきましては、国内市場商品の売上が増加したものの、海外市場の売上が減少しました。この結果、売上高は57億18百万円(前期比1.0%減)となりました。この分野の売上は、当社グループ売上全体の61.7%を占めております。

建材・充填材

当該商品は、住宅用建材や土木資材、シリコンゴム等に使用される商品群です。

当連結会計年度におきましては、海外市場に加え国内市場商品の売上が全体的に増加しました。この結果、売上高は14億96百万円(前期比4.8%増)となりました。この分野の売上は、当社グループ売上全体の16.1%を占めております。

化成品

当該商品は、プールや温浴施設及び浄化槽向けの塩素系消毒剤、産業排水向けの高活性微生物剤等の水処理関連商品群です。

当連結会計年度におきましては、プール用塩素剤の売上が減少しましたが、浄化槽用塩素剤及び温浴施設用塩素剤の売上が増加しました。この結果、売上高は15億1百万円(前期比2.1%増)となりました。この分野の売上は、当社グループ売上全体の16.2%を占めております。

その他の製品

当該商品は、珪藻土粒状品及びデオドラント商品等の生活関連用品、その他スポットで発生する商品群です。

当連結会計年度におきましては、主に各種化学品向け商品の売上が減少しました。この結果、売上高は5億55百万円(前期比0.9%減)となりました。この分野の売上は、当社グループ全体の6.0%を占めております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9億14百万円増加し、145億69百万円となりました。主な増加は、投資有価証券11億70百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金2億10百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億53百万円減少し、51億81百万円となりました。主な減少は、短期借入金3億37百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ12億68百万円増加し、93億87百万円となりました。主な増加は、利益剰余金5億60百万円、その他有価証券評価差額金6億43百万円であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の59.5%から64.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より1億99百万円減少し、28億73百万円となりました。

当連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8億26百万円となりました。

これは、主に税金等調整前当期純利益8億85百万円、減価償却費2億78百万円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億69百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出3億90百万円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、6億65百万円となりました。

これは、主に長期借入金の返済による支出4億34百万円、短期借入金の純増減額の減少3億37百万円に対し、長期借入金の借入れによる収入3億円があったことによります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標は次のとおりであります。

項目	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	48.5	51.8	56.2	59.5	64.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	31.6	36.7	35.3	34.3	37.8
債務償還年数 (年)	8.0	5.8	3.9	3.8	2.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	13.5	19.8	28.7	24.7	28.0

- (注) 自己資本比率 : (自己資本) ÷ (総資産)
 時価ベースの自己資本比率 : (株式時価総額) ÷ (総資産)
 債務償還年数 : (有利子負債) ÷ (営業キャッシュ・フロー)
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : (営業キャッシュ・フロー) ÷ (利払い)

- 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- 「株式時価総額」は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- 「営業キャッシュ・フロー」は、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。「有利子負債」は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、「利払い」については、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。
- 「債務償還年数」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスの場合は記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期の日本経済は、所得環境の改善や設備投資意欲の持続等により緩やかな回復が続くと予想されますが、世界的インフレ傾向や円安、ウクライナや中東情勢ほか地政学的リスクの高まり懸念等、今後の予測が困難な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは経営理念である「お客様のため、社会のため、人間生活向上のため、貴重な資源を限りなく有効に活用し、広く産業を支え、豊かな明日を構築することに貢献する。」を実現すべく、気候変動問題への対応や多様な人材が活躍できる基盤づくり等の社会的要請を意識しつつ、積極的な拡販活動、新規事業育成、全社規模でのコスト削減、災害リスクの低減等、各種施策を進めてまいります。

2027年3月期の連結業績予想につきましては、売上高94億円、営業利益2億円を見込んでおりますが、経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益につきましては公表を見合わせております。その理由は、持分法適用会社であるオーベクス株式会社が、業績に影響を与える要素について現時点では未確定なものが多く適正かつ合理的算定が困難であることから業績予想を非開示としたためであります。今後につきましては、業績予想算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

なお、当社は、本日付で新たな中期経営計画を策定・公表いたしました。今後の経営方針、数値目標および主要施策等につきましては、当該開示資料をご参照くださいますようお願い申し上げます。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、安定した配当を継続的に行うことを基本方針とすると同時に、長期的視点による事業の維持拡大をめざし、効果的な設備投資及び研究開発を実践していくための内部留保確保に努めております。

当期の年間配当金につきましては、1株につき10円の普通配当とさせていただきます予定であります。なお、当期は既に中間配当金として1株につき3円を実施いたしましたので、期末配当金はこれを差し引いた1株につき7円とさせていただきます予定であります。

次期の見通しにつきましては、合理的に算定することが困難な状況にあるため、連結売上高および営業利益のみの開示としております。こうした状況を踏まえつつも、株主の皆様への安定的な利益還元を重視する観点から、現時点における配当予想を1株につき年間配当金6円（中間配当金3円）の普通配当とさせていただきます予定であります。ただし、今後の業績動向によっては配当予想を変更する可能性があります。変更が生じた場合には、決定次第、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

今後のIFRS（国際会計基準）の適用につきましては、国内外の情勢等を踏まえ、適切な対応を検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,172,426	2,973,394
受取手形及び売掛金	2,082,464	1,871,867
電子記録債権	366,550	487,857
商品及び製品	410,541	435,996
仕掛品	478,585	474,775
原材料及び貯蔵品	211,266	208,937
その他	71,300	46,550
貸倒引当金	△3,452	△49,782
流動資産合計	6,789,683	6,449,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,113,166	3,273,363
減価償却累計額	△2,310,477	△2,373,989
建物及び構築物 (純額)	802,688	899,373
機械装置及び運搬具	5,114,339	5,335,690
減価償却累計額	△4,479,531	△4,592,489
機械装置及び運搬具 (純額)	634,808	743,201
土地	549,678	547,684
原料用地	663,787	672,659
減価償却累計額	△232,116	△239,640
原料用地 (純額)	431,671	433,018
リース資産	148,962	19,362
減価償却累計額	△148,962	△19,362
リース資産 (純額)	—	—
建設仮勘定	170,731	88,864
その他	129,032	130,326
減価償却累計額	△106,004	△110,136
その他 (純額)	23,028	20,189
有形固定資産合計	2,612,606	2,732,333
無形固定資産		
その他	90,290	68,583
無形固定資産合計	90,290	68,583
投資その他の資産		
投資有価証券	3,706,238	4,877,104
長期貸付金	58,780	57,580
繰延税金資産	23,849	24,468
その他	452,099	436,928
貸倒引当金	△78,238	△77,067
投資その他の資産合計	4,162,729	5,319,014
固定資産合計	6,865,626	8,119,930
資産合計	13,655,309	14,569,529

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	902,999	828,764
電子記録債務	93,696	103,305
短期借入金	1,581,000	1,244,000
1年内償還予定の社債	130,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	394,464	304,614
未払法人税等	126,166	133,147
賞与引当金	100,380	102,527
その他	337,782	395,352
流動負債合計	3,666,489	3,191,710
固定負債		
社債	120,000	40,000
長期借入金	658,541	613,927
繰延税金負債	88,841	405,792
役員退職慰労引当金	18,998	18,998
退職給付に係る負債	893,547	823,273
その他	89,209	88,144
固定負債合計	1,869,138	1,990,135
負債合計	5,535,627	5,181,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,950	598,950
資本剰余金	566,281	566,281
利益剰余金	5,989,526	6,550,465
自己株式	△383,189	△383,189
株主資本合計	6,771,567	7,332,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,066,810	1,710,086
土地再評価差額金	6,488	6,507
為替換算調整勘定	274,815	338,582
その他の包括利益累計額合計	1,348,114	2,055,176
純資産合計	8,119,682	9,387,682
負債純資産合計	13,655,309	14,569,529

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	9,237,406	9,272,889
売上原価	6,393,319	6,325,391
売上総利益	2,844,087	2,947,498
販売費及び一般管理費		
発送費	1,015,051	1,009,743
給料及び手当	420,228	408,011
賞与引当金繰入額	51,169	52,629
退職給付費用	42,483	39,202
貸倒引当金繰入額	△10,368	35,199
減価償却費	37,177	35,721
その他	942,259	920,709
販売費及び一般管理費合計	2,498,001	2,501,217
営業利益	346,085	446,281
営業外収益		
受取利息	1,182	651
受取配当金	61,645	69,547
固定資産賃貸料	55,042	56,655
持分法による投資利益	43,083	162,784
売電収入	27,397	28,427
為替差益	18,715	—
受取手数料	28,005	88,679
その他	61,467	23,524
営業外収益合計	296,540	430,270
営業外費用		
支払利息	29,976	30,789
売電費用	21,017	19,775
為替差損	—	10,840
その他	20,445	13,795
営業外費用合計	71,439	75,201
経常利益	571,186	801,350
特別利益		
有形固定資産売却益	23	3,288
投資有価証券売却益	51,232	86,363
特別利益合計	51,255	89,651
特別損失		
有形固定資産売却損	3,412	—
固定資産除却損	19,015	5,277
投資有価証券評価損	—	624
関係会社株式評価損	7,315	—
特別損失合計	29,743	5,901
税金等調整前当期純利益	592,699	885,100
法人税、住民税及び事業税	225,221	242,295
法人税等調整額	△44,365	17,962
法人税等合計	180,855	260,258
当期純利益	411,843	624,842
親会社株主に帰属する当期純利益	411,843	624,842

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	411,843	624,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129,305	643,017
為替換算調整勘定	55,682	27,666
持分法適用会社に対する持分相当額	41,046	36,378
その他の包括利益合計	226,034	707,061
包括利益	637,878	1,331,904
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	637,878	1,331,904

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	598,950	566,281	5,694,833	△383,189	6,476,874
当期変動額					
剰余金の配当			△117,150		△117,150
親会社株主に帰属する当期純利益			411,843		411,843
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	294,693	—	294,693
当期末残高	598,950	566,281	5,989,526	△383,189	6,771,567

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	937,885	6,545	177,649	1,122,080	7,598,954
当期変動額					
剰余金の配当					△117,150
親会社株主に帰属する当期純利益					411,843
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	128,925	△57	97,166	226,034	226,034
当期変動額合計	128,925	△57	97,166	226,034	520,727
当期末残高	1,066,810	6,488	274,815	1,348,114	8,119,682

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	598,950	566,281	5,989,526	△383,189	6,771,567
当期変動額					
剰余金の配当			△63,903		△63,903
親会社株主に帰属する当期純利益			624,842		624,842
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	560,938	—	560,938
当期末残高	598,950	566,281	6,550,465	△383,189	7,332,506

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	1,066,810	6,488	274,815	1,348,114	8,119,682
当期変動額					
剰余金の配当					△63,903
親会社株主に帰属する当期純利益					624,842
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	643,275	19	63,766	707,061	707,061
当期変動額合計	643,275	19	63,766	707,061	1,268,000
当期末残高	1,710,086	6,507	338,582	2,055,176	9,387,682

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	592,699	885,100
減価償却費	255,054	278,344
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△23,595	45,159
賞与引当金の増減額 (△は減少)	55,235	2,146
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	39,441	△70,274
受取利息及び受取配当金	△62,828	△70,198
支払利息	29,976	30,789
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	624
関係会社株式評価損	7,315	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△51,232	△86,363
持分法による投資損益 (△は益)	△43,083	△162,784
有形固定資産売却損益 (△は益)	3,388	△3,288
固定資産除却損	16,240	5,277
売上債権の増減額 (△は増加)	302,312	101,924
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△62,931	△19,316
仕入債務の増減額 (△は減少)	△224,624	△27,667
その他	10,821	98,494
小計	844,191	1,007,967
利息及び配当金の受取額	128,463	85,729
利息の支払額	△31,055	△29,483
法人税等の支払額	△196,965	△237,591
法人税等の還付額	21,912	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	766,546	826,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	220,000	—
有形固定資産の取得による支出	△362,494	△390,466
有形固定資産の売却による収入	444	5,283
無形固定資産の取得による支出	△6,086	△3,645
投資有価証券の取得による支出	△41,794	△71,766
投資有価証券の売却による収入	66,075	112,345
短期貸付金の回収による収入	2,000	—
長期貸付金の回収による収入	1,200	1,200
その他	△15,321	△21,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,975	△369,025
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△511,791	△337,000
長期借入れによる収入	650,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△277,855	△434,464
社債の償還による支出	△190,000	△130,000
自己株式の売却による収入	11,108	—
配当金の支払額	△117,150	△63,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435,687	△665,367
現金及び現金同等物に係る換算差額	48,122	8,738
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	243,006	△199,032
現金及び現金同等物の期首残高	2,829,420	3,072,426
現金及び現金同等物の期末残高	3,072,426	2,873,394

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)及び当連結会計年度(自2025年4月1日 至2026年3月31日)

当社グループは、珪藻土・パーライト事業セグメント単一ですので、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

区分	濾過助剤	建材・充填材	化成品	その他	合計
外部顧客への売上高	5,777,691	1,427,882	1,471,240	560,591	9,237,406

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	その他	合計
7,422,169	1,815,236	9,237,406

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

日本国内の有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2025年4月1日 至2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

区分	濾過助剤	建材・充填材	化成品	その他	合計
外部顧客への売上高	5,718,922	1,496,521	1,501,904	555,541	9,272,889

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	その他	合計
7,567,454	1,705,434	9,272,889

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

日本国内の有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）及び当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）及び当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）及び当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	762.37円	881.42円
1株当たり当期純利益金額	38.67円	58.67円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	411,843	624,842
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額 (千円)	411,843	624,842
期中平均株式数 (千株)	10,650	10,650

（重要な後発事象）

該当事項はありません。